

# 2025年3月期 第1四半期決算補足資料

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2024年8月8日

## 注意事項

---

本資料は、株式会社レノバ(以下「弊社」といいます。)及び弊社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は四捨五入としているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先  
株式会社レノバ IR室  
電話 : 03-3516-6263  
メール: [ir@renovainc.com](mailto:ir@renovainc.com)  
IRサイト: <https://www.renovainc.com/ir>

---

I. 2025年3月期第1四半期決算(IFRS)

## 2025年3月期第1四半期連結決算(IFRS)及び直近のハイライト

1

2024年7月、徳島津田バイオマスの補修工事が終了し、  
運転再開。9月末より恒久対策工事を計画通り実施予定

2

2024年7月、石巻ひばり野バイオマスは  
NTTアノードエナジーとのPPA<sup>\*1</sup>に基づく売電を開始

3

2024年8月下旬、唐津バイオマスは試運転を開始予定

4

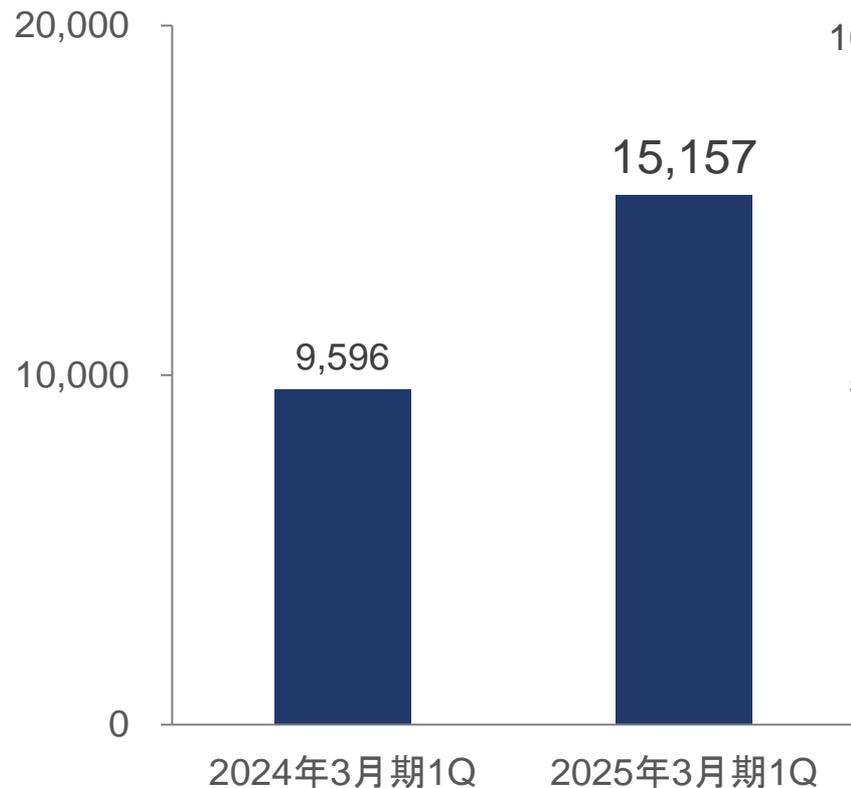
新たに、Non-FIT太陽光事業におけるPPA<sup>\*1</sup>が締結間近

# 連結売上収益及び連結EBITDA<sup>\*1</sup>の推移(IFRS)

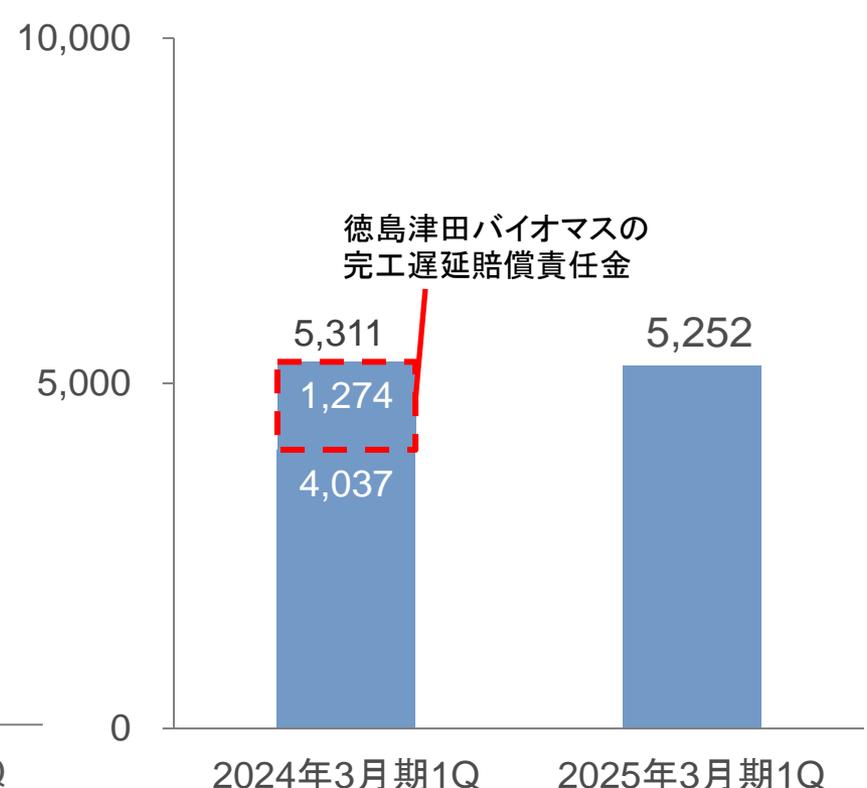
(単位: 百万円)

- 売上収益は、昨年度下期に運転開始した仙台蒲生バイオマス、石巻ひばり野バイオマスの寄与により、前年同期比で増加
- EBITDAは、徳島津田バイオマスでの補修作業による3か月運転停止および昨年同期計上の完工遅延損害賠償金(約13億円)の影響を大きく受け、横ばい

### 連結売上収益(実績)



### 連結EBITDA<sup>\*1</sup>(実績)



\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

## 連結業績ハイライト(IFRS)

(単位: 百万円)

- 営業利益以下の段階利益は、主にバイオマス発電所(仙台蒲生、徳島津田、石巻ひばり野)の減価償却費及び償却費が影響

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 (業績予想)	通期進捗率
売上収益	9,596	15,157	71,800	21.1%
EBITDA*1	5,311	5,252	20,800	25.3%
EBITDA マージン	55.4%	34.7%	29.0%	-
営業利益	2,988	571	1,000	57.1%
親会社の所有者に 帰属する利益	1,354	331	5,900	5.6%
EPS(円)*2	17.21	3.73	65.31	-
LTM ROE*3	▲1.2%	9.9%	7.0%	-
設備容量(MW)*4	594.3	852.3	1,187.2	-

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 \*2 EPSは潜在株式調整を考慮しない数値 \*3 ROE における親会社の所有者に帰属する持分は、12ヶ月間の期首・期末の単純平均値を使用 \*4 設備容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示

# セグメント別連結業績(IFRS)

(単位: 百万円)

- 再生可能エネルギー発電事業の売上収益は、昨年度下期に運転開始した仙台蒲生バイオマス、石巻ひばり野バイオマスの寄与により、前年同期比で増加
- 再生可能エネルギー開発・運営事業は、事業の開発進捗に係る開発費及び受取配当金のタイミングのズレが、EBITDAに影響

		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減	
再生可能エネルギー 発電事業	(A)	売上収益	9,492	15,078	5,586
		EBITDA <sup>*2</sup>	6,662	6,457	▲204
		営業利益	4,374	1,809	▲2,565
再生可能エネルギー 開発・運営事業	(B) <sup>*1</sup>	売上収益	1,365	1,420	55
		EBITDA <sup>*2</sup>	801	123	▲677
		営業利益	698	15	▲683
連結消去	(C)	売上収益	▲1,261	▲1,341	▲80
		EBITDA <sup>*2</sup>	▲2,151	▲1,328	823
		営業利益	▲2,085	▲1,253	831
合計	(A) + (B) <sup>*1</sup> + (C)	売上収益	9,596	15,157	5,561
		EBITDA <sup>*2</sup>	5,311	5,252	▲59
		営業利益	2,988	571	▲2,417

\*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

\*2 EBITDA = 売上収益 - 燃料費 - 外注費 - 人件費 + 持分法による投資損益 + その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 再生可能エネルギー発電セグメント(IFRS)

(単位: 百万円)

- 大規模太陽光発電事業は、人吉ソーラーが通期寄与
- バイオマス発電事業は、仙台蒲生バイオマス、石巻ひばり野バイオマスの通期寄与があった一方、徳島津田バイオマスにおける補修工事による運転停止が影響。なお、前年同期は徳島津田バイオマスの完工遅延損害賠償金(約13億円)による一過性利益を計上

		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
大規模太陽光	売上収益	4,237	4,436	200
	EBITDA*1	3,809	3,968	159
	営業利益	2,307	2,396	89
バイオマス	売上収益	5,251	10,577	5,326
	EBITDA*1	2,931	2,614	▲316
	営業利益	2,147	▲438	▲2,584
その他	売上収益	4	64	61
	EBITDA*1	▲78	▲125	▲47
	営業利益	▲79	▲149	▲71
合計	売上収益	9,492	15,078	5,586
	EBITDA*1	6,662	6,457	▲204
	営業利益	4,374	1,809	▲2,565

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 連結資本構成 (IFRS)

(単位: 百万円)

- 第三者割当増資、バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動等により資本比率は上昇

		2024年3月期 期末	2025年3月期 第1四半期末	増減	主な増減要因
主要BS項目	資産合計	465,399	522,300	56,900	第三者割当増資、バイオマス事業の燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
	親会社の所有者に帰属する持分合計	68,005	103,992	35,987	第三者割当増資、バイオマス事業の燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
	純有利子負債 <sup>*1</sup>	240,374	221,723	▲18,651	
	現預金 <sup>*2</sup>	66,492	92,525	26,033	第三者割当増資
	有利子負債 <sup>*3</sup>	306,866	314,248	7,382	石巻ひばり野バイオマスの借入実行
親会社所有者持分比率		14.6%	19.9%	5.3%	
資本比率		22.7%	28.4%	5.7%	
財務健全性 指標	Net D / Eレシオ <sup>*4</sup>	2.3X	1.5X	▲0.8X	
	Net Debt / EBITDA <sup>*5</sup>	14.4X	13.3X	▲1.1X	
	調整後Net Debt / EBITDA <sup>*6</sup>	10.9X	9.7X	▲1.2X	

\*1 純有利子負債＝有利子負債－現預金 \*2 現預金＝現金及び現金同等物＋引出制限付預金 \*3 有利子負債＝借入金＋社債＋リース負債＋金融負債

\*4 Net D/Eレシオ＝純有利子負債 / 資本 \*5 LTM EBITDAは、2024年3月期 16,712百万円、2024年3月期第1四半期(2023年7月から2024年6月) 16,653百万円

\*6 運転期間が1年未満の発電事業SPCのNet Debt及びEBITDAを除いた数値にて算出

# 連結財政状態計算書(IFRS)

(単位: 百万円)

	2024年3月期 期末	2025年3月期 第1四半期末	増減	主な増減要因
流動資産	91,114	117,872	26,758	第三者割当増資
非流動資産	374,285	404,427	30,142	
有形固定資産	220,332	218,267	▲2,065	
無形資産	34,547	34,079	▲468	
その他の金融資産	80,734	106,856	26,122	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
持分法で会計処理されている投資	21,731	27,305	5,573	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
<b>資産合計</b>	<b>465,399</b>	<b>522,300</b>	<b>56,900</b>	
有利子負債*1	306,866	314,248	7,382	石巻ひばり野バイオマスの借入実行
その他負債	52,836	59,897	7,061	
<b>負債合計</b>	<b>359,701</b>	<b>374,145</b>	<b>14,443</b>	
利益剰余金	33,838	34,169	331	
その他の資本の構成要素	30,862	49,055	18,192	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動、金利スワップの公正価値変動
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,005	103,992	35,987	第三者割当増資
非支配持分	37,693	44,163	6,471	
<b>資本合計</b>	<b>105,698</b>	<b>148,155</b>	<b>42,457</b>	

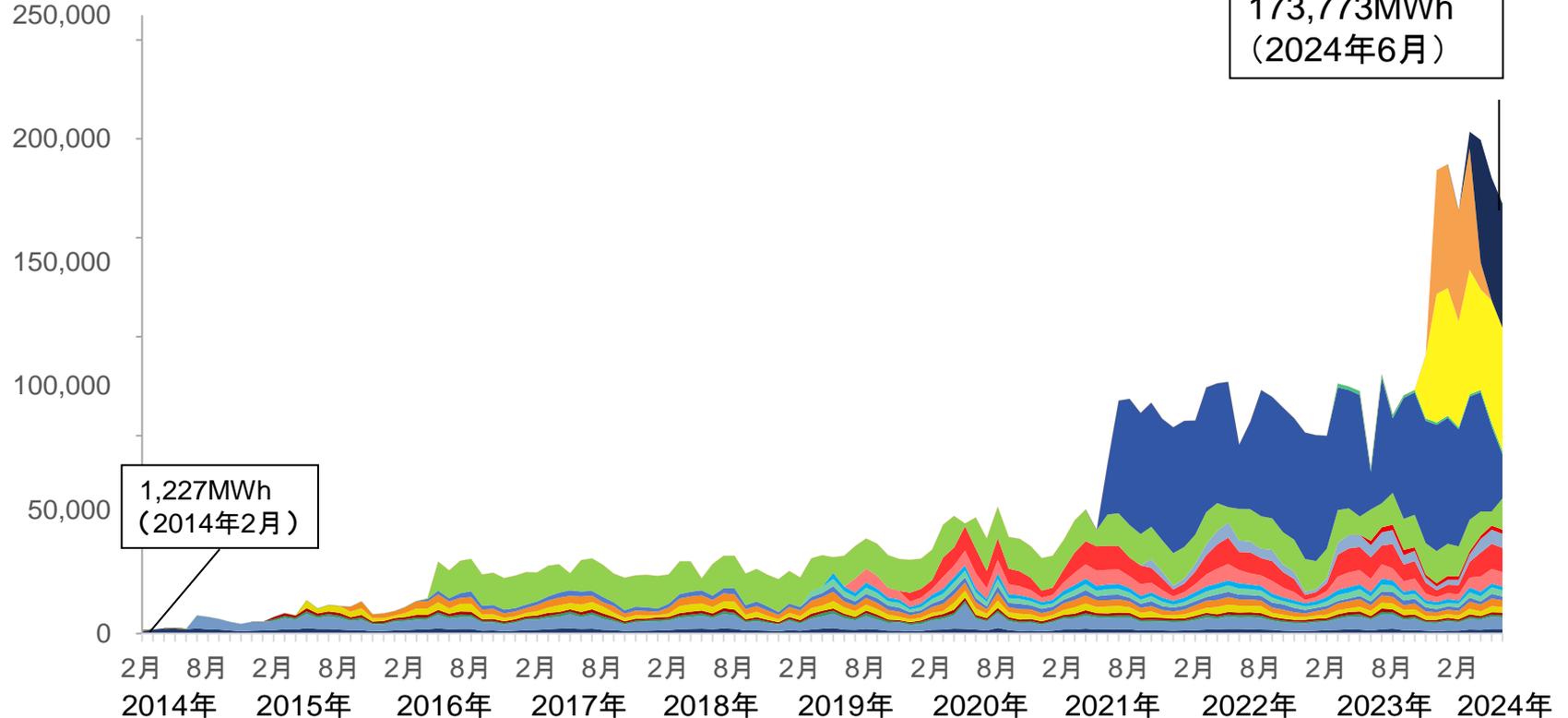
\*1 有利子負債 = 借入金 + 社債 + リース負債 + 金融負債

# レノバの運営する国内の発電所における売電量の月次推移

## 2024年6月時点

- 徳島津田バイオマスは補修工事実施に伴い約3ヶ月間運転停止、7月30日より運転再開
- その他の稼働中の各発電所は、安定した稼働が続く

(単位：MWh<sup>\*1</sup>)



- |             |             |               |            |
|-------------|-------------|---------------|------------|
| ■ 水郷潮来ソーラー  | ■ 富津ソーラー    | ■ 菊川堀之内谷ソーラー  | ■ 菊川石山ソーラー |
| ■ 九重ソーラー    | ■ 那須塩原ソーラー  | ■ 大津町ソーラー     | ■ 四日市ソーラー  |
| ■ 那須烏山ソーラー  | ■ 軽米西ソーラー*2 | ■ 軽米東ソーラー*3   | ■ 軽米尊坊ソーラー |
| ■ 人吉ソーラー    | ■ 秋田バイオマス   | ■ 苧田バイオマス     | ■ 南阿蘇湯の谷地熱 |
| ■ 仙台蒲生バイオマス | ■ 徳島津田バイオマス | ■ 石巻ひばり野バイオマス |            |

\*1 発電量をあらわす単位 (1MWh=1,000kWh)

\*2 秋田バイオマスは、4月から5月にかけて定期点検を実施

\*3 苧田バイオマスは、6月から7月にかけて定期点検を実施

# (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)			EBITDA マージン	当期利益*3	弊社持分 比率	
			売上収益	EBITDA				
水郷潮来ソーラー*1	15.3	40円	2025年3月期1Q	210	213	101.3%	100	68.0%
			2024年3月期1Q	187	141	75.3%	49	68.0%
富津ソーラー*1	40.4	40円	2025年3月期1Q	550	493	89.7%	217	51.0%
			2024年3月期1Q	579	526	91.0%	238	51.0%
菊川石山ソーラー*1	9.4	40円	2025年3月期1Q	117	99	84.3%	33	63.0%
			2024年3月期1Q	127	111	87.3%	41	63.0%
菊川堀之内谷 ソーラー*1	7.5	40円	2025年3月期1Q	94	78	83.1%	26	61.0%
			2024年3月期1Q	101	87	86.5%	31	61.0%
九重ソーラー*2	25.4	40円	2025年3月期1Q	267	220	82.4%	80	100.0%
			2024年3月期1Q	232	196	84.3%	53	100.0%
那須塩原ソーラー*2	26.2	40円	2025年3月期1Q	341	290	84.9%	158	100.0%
			2024年3月期1Q	329	292	88.8%	158	100.0%

\*1 株式会社 \*2 匿名組合事業。匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない  
\*3 企業結合により取得した子会社については、取得法により計上した契約関連無形資産の償却費及び企業結合時点の包括利益累計額が消去された影響等を反映していない

# (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)			EBITDA	当期利益*2	弊社 持分比率	
			売上収益	EBITDA	マージン			
大津町ソーラー*1	19.0	36円	2025年3月期1Q	173	139	80.7%	34	100.0%
			2024年3月期1Q	152	121	79.4%	13	100.0%
那須烏山ソーラー*1	19.2	36円	2025年3月期1Q	180	130	72.0%	27	100.0%
			2024年3月期1Q	214	183	85.5%	79	100.0%
軽米西ソーラー*1	48.0	36円	2025年3月期1Q	651	597	91.8%	300	100.0%
			2024年3月期1Q	620	571	92.2%	271	100.0%
軽米東ソーラー*1	80.8	36円	2025年3月期1Q	1,078	1,005	93.2%	565	100.0%
			2024年3月期1Q	1,007	941	93.5%	497	100.0%
軽米尊坊ソーラー*1	40.8	36円	2025年3月期1Q	602	558	92.6%	284	55.0%
			2024年3月期1Q	553	516	93.3%	240	55.0%
人吉ソーラー*1	20.8	36円	2025年3月期1Q	173	147	84.7%	17	100.0%
			2024年3月期1Q	136	123	90.9%	83	38.0%

\*1 匿名組合事業。匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない

\*2 企業結合により取得した子会社については、取得法により計上した契約関連無形資産の償却費及び企業結合時点の包括利益累計額が消去された影響等を反映していない

## (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)		売上収益	EBITDA	EBITDA	当期利益*2	弊社
						マージン		持分比率
秋田バイオマス	20.5	固定PPA	2025年3月期1Q	816	36	4.4%	▲87	35.3%
			2024年3月期1Q	936	140	14.9%	▲17	35.3%
苅田バイオマス	75.0	24円 /32円	2025年3月期1Q	2,511	782	31.1%	139	53.1%
			2024年3月期1Q	2,789	901	32.3%	229	53.1%
仙台蒲生バイオマス	75.0	24円 /32円	2025年3月期1Q	3,366	900	26.7%	65	60.0%
			2024年3月期1Q	-	-	-	-	29.0%
徳島津田バイオマス*1	74.8	24円 /32円	2025年3月期1Q	261	▲467	NA	▲389	70.4%
			2024年3月期1Q	-	-	-	-	70.4%
石巻ひばり野バイオマス*1	75.0	固定PPA	2025年3月期1Q	3,624	817	22.5%	▲18	62.93%
			2024年3月期1Q	-	-	-	-	49.9%

\*1 持分比率は、配当比率を記載

\*2 企業結合により取得した子会社については、取得法により計上した契約関連無形資産の償却費及び企業結合時点の包括利益累計額が消去された影響等を反映していない

---

## II. 足元における投資家のご関心事項

## バイオマス事業に関する投資家のご関心事項

### 徳島津田バイオマスの補修状況

- 2024年4月から進めていた補修工事は、7月末に完了し運転再開済
- 9月下旬から12月下旬まで恒久対策工事を予定
- いずれも今期連結業績予想に織り込み済み

### 御前崎港バイオマスの試運転状況

- 長期間の安定稼働に向けたボイラ・タービン設備の最終調整に時間を要しているため、運転開始時期を10月中に変更
- 連結業績予想にて想定する連結化の予定は今年11月から変更なし

### スポット燃料価格の直近の市況

- 木質ペレット: 160~170ドル/t、弊社業績予想想定(190ドル/t)に対して下方で推移
- 認証PKS: 120~130ドル/t、弊社業績予想想定(180ドル/t)に対して大幅に下方で推移

# スポット燃料市場価格の参考値の推移\*1

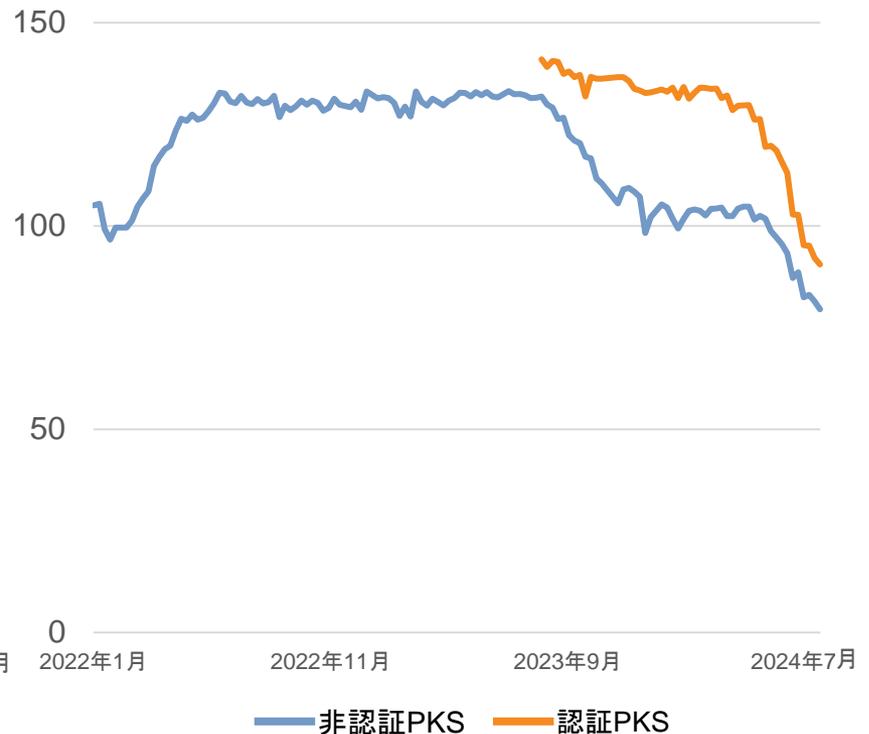
(単位:USD/t)

- 今年5月以降、バイオマス燃料のスポット価格は軟調に推移
- 特に認証PKSについては期初対比で大幅に下落

木質ペレット(米国)



PKS(スマトラ)



\*1 Argus Biomass Marketsより。木質ペレット(米国)は“Wood pellets export price USA southeast fob” PKS(スマトラ)は、“Palm kernel shell (PKS) Index east coast Sumatra fob”のデータをそれぞれ引用。本データの無断転載、無断使用は固く禁じます。

# 金融環境に関する投資家のご関心事項

## 金利変動及び為替変動による主要な影響\*1

- 金利変動、為替変動による当社業績および当社事業に与える影響は現状は軽微

### 金利変動

- 有利子負債総額3,142億円のうち、金利変動の影響を受けるのは約240億円
  - その多くは単体における銀行借入であり、Tibor等の円の参照金利の変動による影響を受ける
  - プロジェクトファイナンスによる有利子負債約2,650億円は、原則、金利スワップにより金利固定済み
  - 発行済みグリーンボンド140億円は、固定金利

### 為替変動

- バイオマス事業での燃料調達にかかる為替(ドル円)は概ねヘッジ済みであり、影響は軽微
  - 燃料価格上昇分は未ヘッジ
- クアンチ風力事業における米ドル建て負債(約151百万ドル)はベトナムドンとの為替変動により評価損益を持分40%についてPL計上(ドル安は評価益)

\*1 財務数値は2024年6月末時点。

---

### Ⅲ. 2025年3月期業績予想(IFRS)

# 2025年3月期連結業績予想(IFRS)

(単位: 百万円 / %)

業績予想に変更なし

- 売上収益は、前期に運転を開始したバイオマス発電所の通年寄与及び御前崎港バイオマスの運転開始を見込む
- 御前崎港バイオマス及び唐津バイオマスの連結化により「企業結合に伴う再測定による利益」の計上を見込む

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	変化率
売上収益	44,748	71,800	60.5%
EBITDA <sup>*1</sup>	16,712	20,800	24.5%
EBITDA マージン	37.3%	29.0%	-
営業利益	5,017	1,000	▲80.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	8,857	5,900	▲33.4%
EPS(円) <sup>*2</sup>	112.32	65.31	-
ROE <sup>*3</sup>	16.0%	7.0%	-
設備容量(MW) <sup>*4</sup>	852.3	1,187.2	

- 前期に運転開始したバイオマス(仙台蒲生、石巻ひばり野)の通年寄与
- 御前崎港バイオマスの運転開始
- 事業開発報酬の計上を見込む
- 御前崎港バイオマス及び唐津バイオマスの連結化に伴う「企業結合に伴う再測定による利益」の計上を見込む

<sup>\*1</sup> EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 <sup>\*2</sup> 2025年3月期(業績予想)のEPSは、2024年3月期末における発行済株式総数を期中平均株式数と仮定して算出 <sup>\*3</sup> ROEにおける親会社の所有者に帰属する持分は連結会計年度の期首と期末の単純平均値を使用 <sup>\*4</sup> 設備容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示

# 再生可能エネルギー発電セグメントの業績予想(IFRS)

業績予想に変更なし

(単位: 百万円)

- 太陽光発電事業は、人吉ソーラーが通年寄与
- バイオマス発電事業は、売上収益は仙台蒲生バイオマス、石巻ひばり野バイオマスの通年寄与、及び御前崎港バイオマスの運転開始を見込む
  - 徳島津田バイオマスの補修作業は7月に完了。9月下旬から12月下旬まで恒久対策工事を実施予定
  - スポット調達の燃料価格前提：木質ペレット190ドル/t、認証PKS、180ドル/t

		2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減
大規模太陽光	売上収益	14,219	14,200	▲19
	EBITDA*1	11,750	11,400	▲350
	営業利益	5,533	5,500	▲33
バイオマス	売上収益	30,049	54,600	24,551
	EBITDA*1	10,441	11,700	1,259
	営業利益	5,116	▲1,500	▲6,616
その他	売上収益	63	600	537
	EBITDA*1	38	700	662
	営業利益	14	300	286
合計	売上収益	44,331	69,400	25,069
	EBITDA*1	22,228	23,800	1,572
	営業利益	10,663	4,300	▲6,363

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 2025年3月期セグメント別業績予想(IFRS)

(単位: 百万円)

業績予想に変更なし

- 再生可能エネルギー発電事業は、売上収益及びEBITDAの増加を見込む。一方で、燃料価格の高騰及び徳島津田バイオマスにおける長期の点検・補修の影響により営業利益は減少の見込み
- 再生可能エネルギー開発・運営事業は、事業開発報酬の計上、及び前年実績並みの開発費用を見込む

		2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	差分
再生可能エネルギー発電事業(A)	売上収益	44,331	69,400	25,069
	EBITDA <sup>*2</sup>	22,228	23,800	1,572
	営業利益	10,663	4,300	▲6,363
再生可能エネルギー開発・運営事業(B) <sup>*1</sup>	売上収益	2,994	6,300	3,306
	EBITDA <sup>*2*3</sup>	▲1,777	1,200	2,977
	営業利益	▲2,192	800	2,992
連結消去(C)	売上収益	▲2,578	▲3,900	▲1,322
	EBITDA <sup>*2</sup>	▲3,740	▲4,200	▲460
	営業利益	▲3,454	▲4,100	▲646
合計 (A) + (B) <sup>*1</sup> + (C)	売上収益	44,748	71,800	27,052
	EBITDA <sup>*2</sup>	16,712	20,800	4,088
	営業利益	5,017	1,000	▲4,017

\*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

\*2 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用。EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

\*3 再生可能エネルギー開発・運営事業セグメントのEBITDAの金額は、受取配当金を含めた金額であり、決算短信に記載しているセグメント注記の金額と異なる

# 2025年3月期連結業績予想の主な前提条件

下線箇所は、5月8日時点からの更新箇所

業績予想に変更なし

## 2024年3月期(実績)

## 2025年3月期(予想)

### 発電事業 セグメント

#### 【連結】

- 太陽光12ヶ所／352.8MW
  - 太陽光の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮
- Non-FIT PPA(太陽光)／計11.6MW
- バイオマス4ヶ所／320.3MW
  - 徳島津田の試運転期間の売電収入
  - 完工遅延損害賠償金の計上
  - 計画外停止リスクバッファを考慮

#### 【持分法による投資損益】

- 陸上風力1ヶ所／144.0MW／クアンチ風力
- バイオマスの試運転期間の売電収入
- 地熱1ヶ所／2.0MW／南阿蘇湯の谷地熱

#### 【連結】

- 太陽光12ヶ所／352.8MW
  - 太陽光の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮
- Non-FIT PPA(太陽光)／計約74MW
- バイオマス6ヶ所／445.2MW
  - 徳島津田は、4月に実施した半年点検に基づき、7月に補修作業は完了。また、9月下旬から12月下旬まで恒久対策工事を実施予定
  - 御前崎港は2024年10月運転開始、なお連結予定時期は2024年11月を見込む
  - 唐津は2024年12月運転開始、ただし連結予定時期は2025年3月末を見込む
  - 燃料費は燃料価格の高騰影響を考慮

#### 【持分法による投資損益】

- 陸上風力1ヶ所／144.0MW／クアンチ風力
- バイオマスの試運転期間の売電収入
- 地熱1ヶ所／2.0MW／南阿蘇湯の谷地熱

### 開発・ 運営事業 セグメント

#### 【事業開発報酬】

- 計上を見込まない

#### 【その他】

- 開発費は期初計画に対して、一部未消化

#### 【事業開発報酬】

- 複数の事業から約15億円(連結消去後)の計上を見込む

#### 【その他】

- 開発費は前期実績水準を見込む

\*1 事業開発報酬は、連結消去後の数値を記載

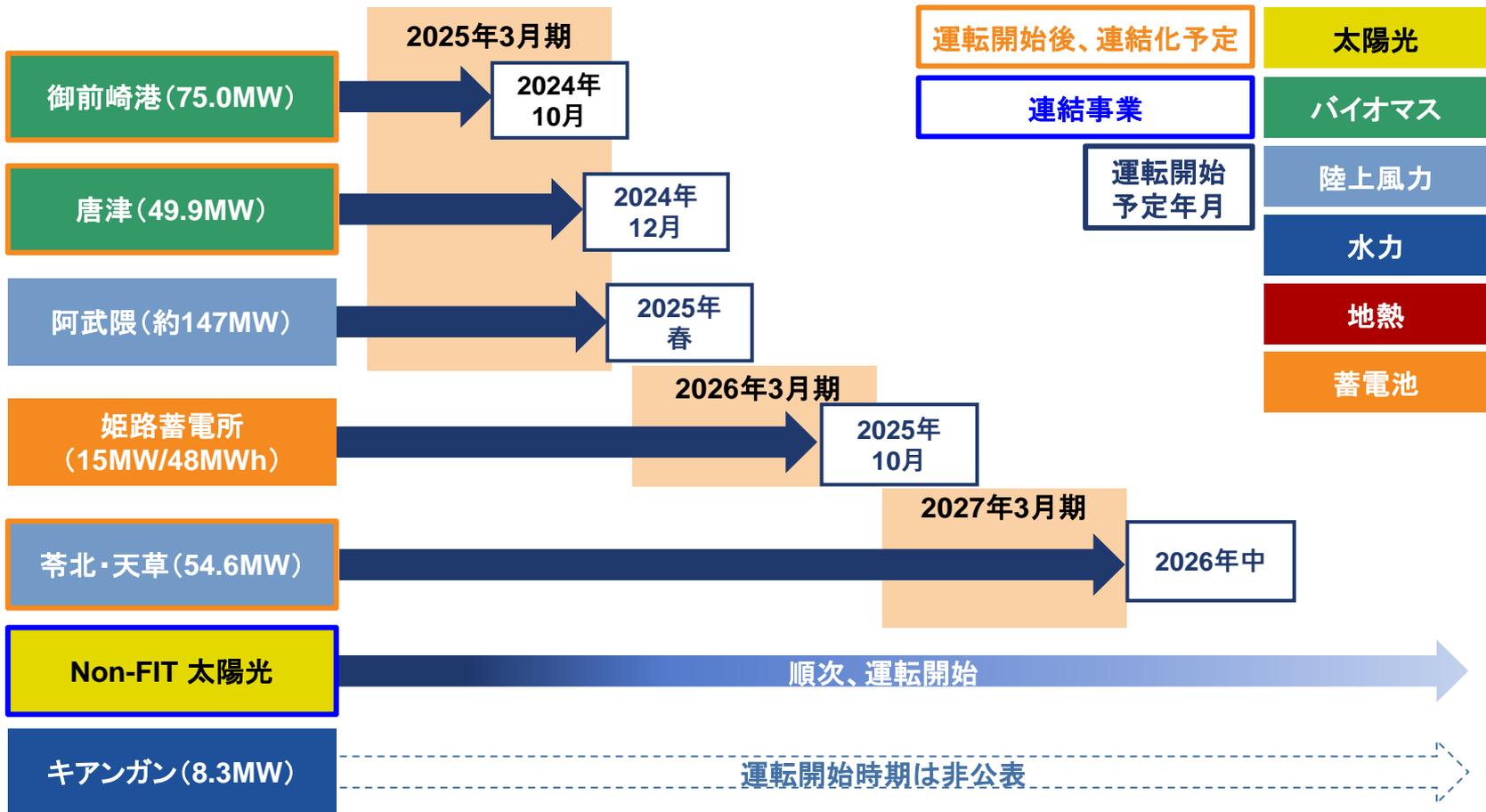
---

#### IV. 事業開発状況のアップデート

# 建設中事業の運転開始スケジュール<sup>\*1\*2</sup>

2024年8月現在

## ■ 運転開始に向けて、工程を進める



\*1 建設中の事業の運転開始の年月は、現状における予定であり、変更、遅延となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 2021年8月に着工したキアンガン水力(8.3MW)の運転開始時期は非公表

# 建設中事業の進捗\*1

2024年8月現在

- 御前崎港バイオマスは、長期安定稼働に向けて試運転中、10月中の運転開始を目指す
- 唐津バイオマスは、8月下旬に開始予定の試運転に向けた準備が進捗
- 苓北・天草風力は、基礎工事が進捗

**御前崎港バイオマス**  
(75.0MW、静岡県御前崎市他)

全景／試運転中  
(2024年7月)

**2024年10月運転開始(予定)\*2**

**唐津バイオマス**  
(49.9MW、佐賀県唐津市)

全景  
(2024年7月)

**2024年12月運転開始(予定)\*2**

**苓北・天草風力**  
(54.6MW、熊本県天草郡苓北町)

鉄塔の組立工事  
(2024年7月)

**2026年中運転開始(予定)\*2**

**姫路蓄電所**  
(15MW/48MWh、兵庫県姫路市)

全景  
(2024年7月)

**2025年10月事業開始(予定)\*2**

**Non-FIT太陽光**

発電所  
(2024年7月)

**順次運転開始**

**キアンガン水力**  
(8.3MW、フィリピンイフガオ州)

変電所の建設  
(2024年7月)

**建設中\*2**

\*1 EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 現状の計画値であり、変動する可能性がある

---

## V.【添付資料】その他会社情報

# 大規模太陽光の保有及び開発状況 (2024年8月現在)

事業名略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh) <sup>*1</sup>	現況	出資比率	運転開始年	FIT終了年
水郷潮来	茨城県	15.3	40円	運転中	68.0%	2014年	2034年
富津	千葉県	40.4	40円	運転中	51.0%	2014年	2034年
菊川石山	静岡県	9.4	40円	運転中	63.0%	2015年	2035年
菊川堀之内谷	静岡県	7.5	40円	運転中	61.0%	2015年	2035年
九重	大分県	25.4	40円	運転中	100%	2015年	2035年
那須塩原	栃木県	26.2	40円	運転中	100%	2015年	2035年
大津町	熊本県	19.0	36円	運転中	100%	2016年	2036年
四日市	三重県	21.6	36円	運転中	20%	2019年	2039年
那須烏山	栃木県	19.2	36円	運転中	100%	2019年	2039年
軽米西	岩手県	48.0	36円	運転中	100%	2019年	2039年
軽米東	岩手県	80.8	36円	運転中	100%	2019年	2039年
軽米尊坊	岩手県	40.8	36円	運転中	55.0%	2021年	2041年
人吉	熊本県	20.8	36円	運転中	100%	2023年	2042年 <sup>*2</sup>

\*1 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*2 2016年8月1日以降に接続契約を締結しており、認定から3年間の運転開始期限が設けられているため、固定価格買取制度の下での売電期間は18年9ヶ月となる見通し

# Non-FIT太陽光の保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年8月現在)

- 2025年3月期は、計63MWの運転開始を見込んでおり、6月末時点では7.2MW(総計18.8MW)が運転中
- 新たに、Non-FIT太陽光によるPPAが締結間近

オフテイカー	PPA締結日	形態	最大契約設備容量(MW)	価格	現況	出資比率	運転開始年(目標)	備考
東京ガス	2022年8月	フィジカル	約13	固定	運転中	100%	2024年3月までに順次	-
EGM*2	2023年1月	フィジカル	約9	固定	順次運転開始	100%	2026年3月までに順次	-
村田製作所	2023年5月	バーチャル*3	約115	固定	順次運転開始	100%	2023年中から順次	電力は卸電力取引所に売電
鈴与商事	2023年6月	フィジカル	約2	固定	順次運転開始	100%	2025年3月までに順次	-
大塚商会	2023年8月 2024年2月	バーチャル*3	約12 約10	固定	順次運転開始	100%	2026年3月 2028年3月 までに順次	電力は卸電力取引所に売電
東邦ガス	2023年12月	フィジカル	約10	固定	順次運転開始	100%	2026年9月までに順次	-

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記。建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある \*2 エバーグリーン・マーケティング  
\*3 太陽光発電所において発電した電力由来の環境価値を非FIT非化石証書として直接販売する環境価値売買契約

# バイオマスの保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年8月現在)

- 2024年7月、石巻ひばり野バイオマスは、NTTアノードエナジーへのPPAに基づく売電を開始
- 御前崎港バイオマスは、10月中の運転開始に向けて試運転中
- 唐津バイオマスは、8月末に試運転の開始を予定

事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資比率	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年	PPA 終了年
秋田(URE)	秋田県	20.5	固定PPA	運転中	35.3%*4	2016年	-	2036年
苅田	福岡県	75.0	24円/32円	運転中	53.1%	2021年	2041年	-
仙台蒲生	宮城県	75.0	24円/32円	運転中	60.0%	2023年	2043年	-
徳島津田	徳島県	74.8	24円/32円	運転中	70.4%*5	2023年	2043年	-
石巻ひばり野	宮城県	75.0	固定PPA	運転中	62.93%*6	2024年3月	-	2043年
御前崎港	静岡県	75.0	24円/32円	試運転中	57.0%*7*8	(2024年10月)	(2044年頃)	-
唐津	佐賀県	49.9	24円	建設中	35.0%*9	(2024年12月)	(2044年頃)	-

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中及び建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 弊社はURE(ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社)に対して、弊社子会社である千秋ホールディングス㈱(以下、千秋HD)を通じて出資しており、弊社によるUREの実質持分(千秋HDが保有するUREの株式に対して、弊社が保有する千秋HDの持株比率を乗じ、弊社が直接保有するとみなして算出したURE持株比率)は35.3%

\*5 ここでは配当比率を記載。出資比率は60.8%

\*6 ここでは配当比率を記載。出資比率は51.0%

\*7 ここでは配当比率を記載。出資比率は38.0%

\*8 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 18.0%、配当比率: 18.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社に帰属する事業からの配当比率は75.0%(但し、弊社の出資比率は56.0%)

\*9 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 16.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は51.0%

# 風力の保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年8月現在)

- 苓北・天草風力は、土木工事及び自営線用の鉄塔組み立て等の基礎工事が進捗
- 陸上風力は、風況観測等の調査を進める開発候補地の積み増しを図っている

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資 比率	環境影響 評価の 進捗	運転 開始年 (目標)*3	FIT 終了年
洋上風力	いすみ*4	千葉県	約[350-450]	未定	先行投資 (公募対象事業*5)	-	配慮書 完了	未定	-
	唐津*4	佐賀県	調査中	未定	先行投資 (公募対象事業*5)	-	配慮書 完了	未定	-
陸上風力	阿武隈*6	福島県	約147	22円	建設中	10% 未満	完了	(2025年春)	(2045年頃)
	苓北・天草	熊本県	54.6	21円	建設中	38%*7	完了	(2026年中)	(2046年頃)
	クアンチ*6	ベトナム	144.0	8.5セント	運転中	40.0%	-	2021年	2041年

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 規模・運転開始年は、見通しが立った段階で開示予定

\*5 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律(2018年12月7日公布)における公募

\*6 他社が主導するマイノリティ投資

\*7 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分及び株主ローン債権(計52.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は90.0%

# その他電源の保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年8月現在)

- 函館恵山地熱は、2023年7月に実施した噴気試験の結果を基に、事業の詳細設計を進める

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資 比率	環境影響 評価の 進捗	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年
地熱	南阿蘇 湯の谷*4	熊本県	2.0	40円	運転中	30.0%	-	2023年3月	2038年
	函館恵山	北海道	未定	未定	先行投資	-	方法書 の完了	未定	-
水力	キアンガン*4	フィリピン	8.3*5	5.87 PHP*6	建設中	40.0%	-	非公表	-

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 他社が開発を主導するマイノリティ投資

\*5 許認可ベースでの設備容量

\*6 小水力発電に関する FIT 対象枠の残存期間中に運転開始した場合の想定 FIT 単価

# 蓄電池事業の保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年8月現在)

- 姫路蓄電所は、蓄電池の設置は完了。系統工事完了後に運転開始予定
- 開発中の複数の蓄電池事業が長期脱炭素オークションにおいて選定され、最終投資意思決定(FID)に向けた準備が進捗

事業名 略称	所在地	蓄電システム 出力 (MW)	蓄電容量 (MWh)	現況	出資 比率	運転開始年 (目標)*2
姫路蓄電所*3	兵庫県	15.0	48.0	建設中	22.0%	(2025年10月)
苫小牧*4	北海道	90.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表
白老*4	北海道	50.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表
森町睦実*4	静岡県	75.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*3 他社が開発を主導するマイノリティ投資

\*4 電力広域的運営推進機関公表の約定結果(2024年4月26日)記載の落札容量は応札した設備容量に対し、エリア・電源種に応じた調整係数を乗じた数値となっています。各設備容量とは数字が異なりますが、応札した設備容量全量に対して本制度が適用される見込み

# 会社概要

2024年6月30日時点

## 会社情報

社名	株式会社レノバ
本店所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号
代表者	代表取締役社長CEO 木南 陽介
設立	2000年5月
資本金	11,324百万円
証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	9519
事業内容	再生可能エネルギー事業
従業員数(連結)	305名

## コーポレート・ガバナンス

取締役会	取締役8名のうち社外取締役4名
監査役会	監査役4名のうち社外監査役3名

## 株式の状況(2024年3月31日時点)

発行可能株式総数	280,800,000株
発行済株式総数	91,174,900株(6月30日時点)
株主数	30,526名

## 主な沿革

2000年5月	(株)リサイクルワン(現レノバ)を設立
2012年10月	再生可能エネルギー事業に参入
2014年2月	水郷潮来ソーラーが発電を開始
2014年7月	富津ソーラーが発電を開始
2015年2月	菊川石山及び菊川堀之内谷ソーラーが発電を開始
2015年5月	九重ソーラーが発電を開始
2015年9月	那須塩原ソーラーが発電を開始
2016年4月	大津町ソーラーが発電を開始
2017年2月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2019年5月	那須烏山ソーラーが発電を開始
2019年7月	軽米西ソーラーが発電を開始
2019年12月	軽米東ソーラーが発電を開始
2021年6月	苅田バイオマスが発電を開始
2021年10月	軽米尊坊ソーラー、クアンチ風力が発電を開始
2023年6月	人吉ソーラーが発電を開始
2023年11月	仙台蒲生バイオマスが発電を開始
2023年12月	徳島津田バイオマスが発電を開始
2024年3月	石巻ひばり野バイオマスが発電を開始